

# 横浜市少年自然の家 赤城林間学園

## 平成26年度 事業計画書

指定管理者

公益財団法人 横浜市体育協会

## 1 基本的な考え方

赤城林間学園の位置づけ、関連行政施策、重点課題等を踏まえ、次のとおり5つの基本方針、さらに15のアクション（実施策）を定め、指定管理事業に取り組みます。

### (1) 運営方針に基づく15のアクション

基本方針1 野外活動・自然観察の拠点として価値の高い施設にします
アクション(実施策) ①「総合的な学習」をサポート ②赤城ならではの自然体験活動等を提供 ③市民ボランティアとの協働
基本方針2 安全・安心な施設にします
アクション(実施策) ④安全管理体制の強化 ⑤ユニバーサルサービスの充実 ⑥ライフサイクルコストの縮減
基本方針3 大規模グループからファミリーまで一年を通じて満足いただける施設にします
アクション(実施策) ⑦ネットワークを駆使し効率的なPR活動を実施 ⑧職員の資質向上と資格認証等の取得
基本方針4 地域に根ざした施設にします
アクション(実施策) ⑨地元人材の活用と地元経済への貢献 ⑩横浜市と昭和村との友好関係をサポート
基本方針5 SR(社会的責任)活動を実践します
アクション(実施策) ⑪モニタリングの仕組みの整備 ⑫コンプライアンス活動の徹底 ⑬PDCA サイクルによるマネジメントの推進 ⑭環境に配慮した施設管理 ⑮環境行動を促す事業の実施

### (2) 平成26年度の方針と年度達成目標

年度方針	主な取組(予定)	年度達成目標
●新規提案事業の実施計画策定	◆新たな提案事業の実現に向けた5年間のロードマップ作成	実利用者 14,517人
●地元との信頼関係の醸成と協働事業の展開	◆学校利用数を増やすための営業活動(校長会などでのPR) ◆教室事業の参加者数向上のためのPR強化	過去3か年平均の7.6%増
●お客様おもてなし力向上強化	◆「おもてなし」技術を身に着けるための研修・訓練の強化と実践。 ◆ノルディックウォーキングの普及活動(レンタルでのポール貸出)	

## 2 職員配置・運営体制

赤城林間学園の管理運営にあたり、必要最小限の職員体制で、安全かつ効率的な管理運営体制を構築します。

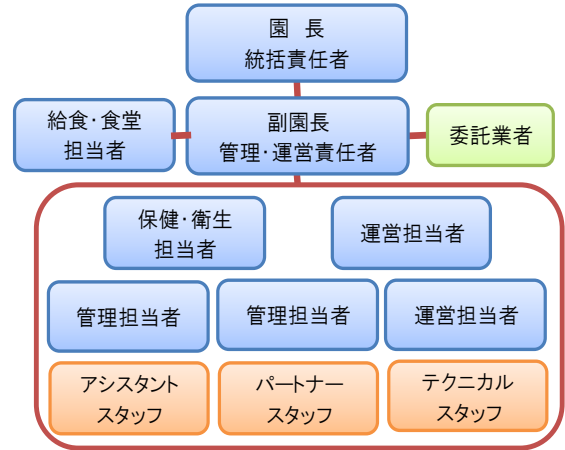
■赤城林間学園の管理運営体制

### (1)管理運営体制

#### ア 職員の配置

園長、副園長兼給食・食堂担当者、保健・衛生担当者、管理担当者2名、運営担当者2名の計7名を配置します。

7名は、地元住民を採用して配置し、緊急時にはいつでも施設へ駆けつけることが可能な体制とします。



#### イ パートナースタッフ・テクニカルスタッフの配置

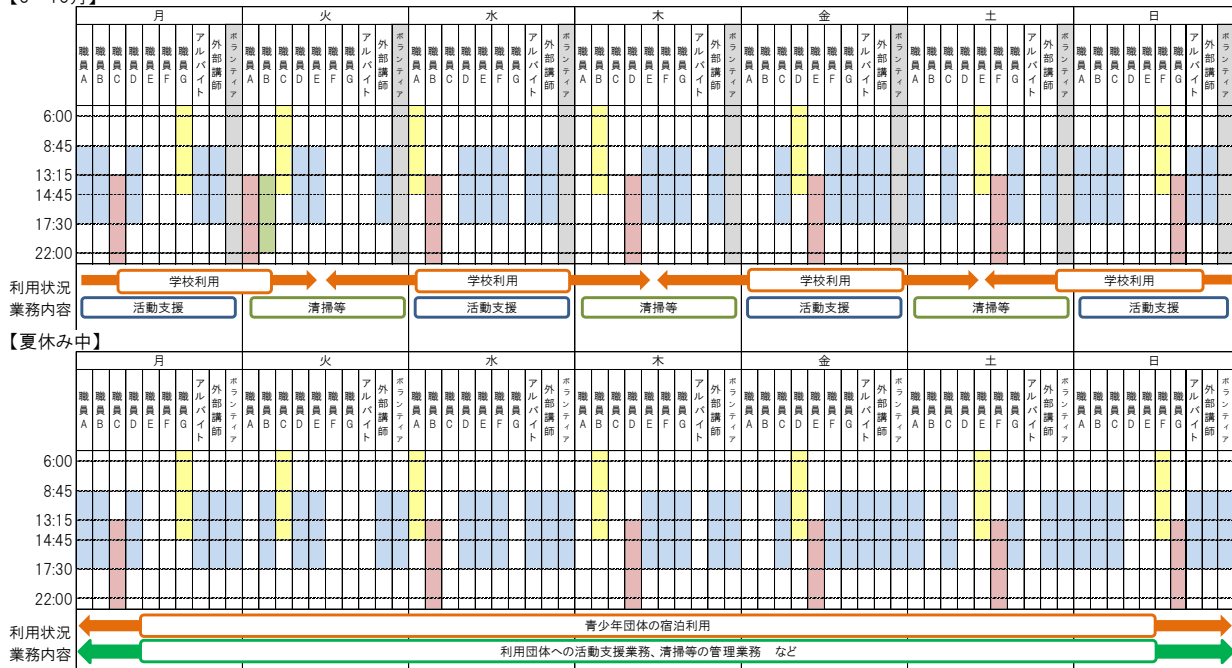
繁忙期にはアルバイト職員を雇用し、学校等の利用団体の支援を行うほか、野外活動指導などは、「野外活動支援ボランティア」を配置します。

また、こんにやく作りやうどん作りなど、職員だけでは十分な人員配置ができない場合は、専門的な技術を持つ地域人材に依頼します。

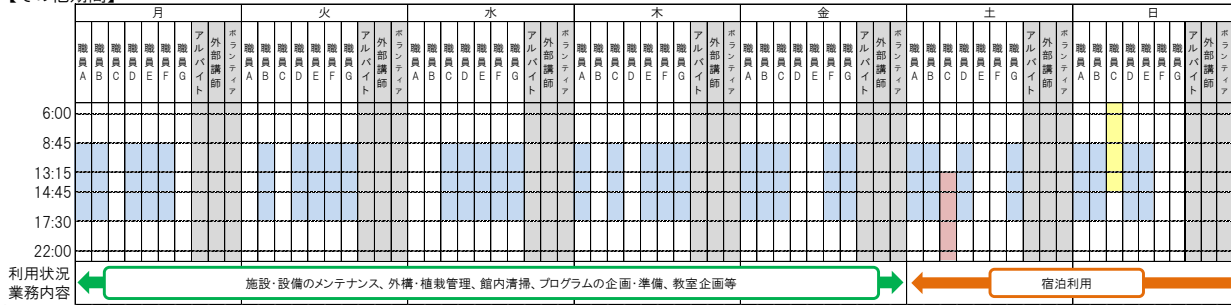
#### ウ 勤務ローテーション

利用団体の活動状況にあわせて通常、遅番、宿直勤務、休日などを組み合わせ、効率的に編成します。

■勤務ローテーション例 (5~10月) ■…日勤 ■…遅番 ■…宿直 ■…宿直明け ※外部講師、ボランティアについては、利用状況やプログラムに応じて配置



【その他期間】



エ 業務委託

消防設備点検や温水ボイラーなど専門的な知識や技術を必要とする業務は実績と能力が高い専門業者に委託します。また、給食の調理業務については、「赤城林間学園運営協力会」に委託します。

■業務委託予定一覧

業務内容	委託先予定		業務内容	委託先予定	
特定建築物衛生管理	ケーピックス(株)	前橋市	襲雷警報装置保守点検	(有)防雷社	高崎市
污水处理施設維持管理	(有)ヒューテック・コーポレーション	藤岡市	園内管理 (外構・植栽・テント設営)	(社)沼田市シルバー人材センター	沼田市
自家用電気工作物保守点検	関東電気保安協会	渋川市	定期清掃	昭和村共栄会	昭和村
ろ過装置保守点検	(株)オーケン・コーポレーション	沼田市	生ゴミ収集運搬	新栄産業(有)	昭和村
給水設備保守管理	(株)小川設備	沼田市	一般廃棄物収集運搬	(株)沼田環境サービス	沼田市
し尿浄化槽維持管理	(有)ヒューテック・コーポレーション	藤岡市	機械警備	群馬総合ガードシステム(株)	前橋市
ボイラー保守点検	(株)小川設備	沼田市	給食調理等運営	赤城林間学園運営協力会	昭和村
ボイラーばい煙測定	関東電化産業(株)	渋川市	殺虫予防	昭和村共栄会	昭和村
暖房機保守点検	(株)小川設備	沼田市	水質検査	(社)群馬県薬剤師会	前橋市
消防設備保守点検	コートクエレメンテ(株)	みなかみ町	寝具クリーニング	昭和村共栄会	昭和村
地下タンク保守点検	コートクエレメンテ(株)	みなかみ町			

(2) 職員研修

研修計画に則り、協会本部や園長が中心となって職場内研修や外部研修を実施し、人材の育成を図ります。

■平成26年度職員研修計画

内容
マネジメント研修
危機管理・リスクマネジメント研修
経理事務研修
施設管理・設備等技術研修
ビジネスマナー・接客研修
個人情報保護研修
コンプライアンス研修
人権研修
上級・普通救急救命講習
ネイチャーゲーム体験会
自然観察指導員
キャンプインストラクター、キャンプディレクター2級

### 3 施設の効用の最大限発揮

#### (1) 広報計画

教室や事業ごとに各種広報媒体を活用し、計画的な広報を行います。

##### ■おもな広報手段

活字	ネット	その他
広報よこはま	E-PAGE	学校ポストの利用
ハマふれんど	Facebook	アウトドアショップとの連携
BE-PAL	ハマスポ.com	青少年団体への周知

#### (2) 利用促進

##### ア 学校ポスト校長会への訪問

横浜市内小学校による体験学習利用の促進のため、学校ポスト活用したチラシの配布や校長会でのPR活動を行うほか、学校を直接、訪問し、学園の利用をはたらきかけます。

##### イ 市内小学校教員限定の「体験会」を開催

学園を利用したことがない市内小学校の教員に限定した1泊2日の「体験会」を開催します。

##### ウ 個人利用プランの実施

学校や青少年団体の利用がない日はすべて、家族・一般利用日として利用者の増加を図ります。

##### エ 利用日の拡大

12月28日から1月4日まで開館します。

##### オ 自主事業(教室事業)の展開による利用促進

5月のゴールデンウィークや夏休みに自主事業を開催し、利用促進をします。  
別添「自主事業」参照

##### カ 新規事業の展開

自然を満喫しながらノルディックウォーキング用のポールの貸出をはじめのほか、昭和村で開催されるサイクリングイベント「センチュリーライド」にあわせた宿泊プランなどの設定など、新しい企画で学園の利用促進を図ります。

別添「自主事業」参照

#### (3) 利用者への支援策

##### ア 利用団体への支援

学園を安全で快適に利用していただくための支援は、①電話等での利用相談 ②来園による下見や事前打ち合わせ ③当日の最終打合せの3段階で行います。

##### イ 周辺環境を活かした豊富なプログラム提供

赤城林間学園を訪れたすべてのお客様が楽しく、安全に体験できる自然体験プログラムを提供します。

## (ア) 野外生活・野外遊び

### ■野外生活・野外遊び(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
テント生活(設営)	春・夏	学園内	小学生～	常設テントの利用やテント設営によるテント生活体験
森林探検	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺の森の中で五感を使った樹木とのふれあい
ロープワーク	通年	園内	小学生～	さまざまな結び方、つなぎ方を学習
きもだめし	4月～11月	学園内	小学生～	園内の暗闇を周回し神社でお札をもらいもどってくる
草木あそび	春・夏・秋	学園周辺	幼児～	草木をつかって首飾りをつくるなどの伝承遊び
雪遊び(雪合戦など)	積雪時期	学園内	小学生～	雪だるまつくりや雪合戦など定番の雪遊び
雪中歩行(かんじき歩き)	積雪時期	学園周辺	小学生～	かんじきを履いて雪の上を歩きながら小動物の足跡探し
ノルディックウォーキング	通年	園内・学園周辺	小学生～	専用ポールを使い通常のウォーキングよりエネルギー消費量が高いウォーキング

## (イ) 自然観察・環境学習

### ■自然観察・環境学習(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
自然観察ハイキング	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺を散策しながら植物や樹木の観察
野鳥観察	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺を散歩しながら双眼鏡で野鳥を観察
星空観望	通年	学園周辺	幼児～	ナイトハイクをしながら星空を眺める
植物観察	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺を散歩しながら植物を観察
森の生き物調べ	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺の遊歩道を散歩しながら昆虫などの採集と観察
川の働き調査	通年	片品川ほか	小学生～	河原を散策しながら地層や生物などを観察
森林の役割調査	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺の遊歩道を散歩しながら森林を観察

## (ウ) 集団活動

### ■集団活動(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
ウォークラリー	通年	学園周辺	小学生～	コマ図の指示に従い課題を解決する
ナイトハイク	通年	学園敷地内	幼児～	照明の届かない森を歩き、静けさを体感する
オリエンテーリング	通年	学園敷地内	小学生～	学園内の施設を探索しながらゴールを目指す
キャンプファイア	通年	学園敷地内	小学生～	丸太の井桁をくみ、炎を囲んでレクリエーション
キャンドルファイア	通年	学園敷地内	小学生～	蜀台を囲んで、歌やレクを楽しむ
ネイチャーゲーム	通年	学園敷地内	小学生～	いろいろな形の葉っぱを探したり、自然界にある課題でゲーム
暗闇体験	厳冬期を除く	学園敷地内	小学生～	森や林の中に入り照明なしで過ごす
屋内スポーツ	通年	森の家	小学生～	バスケットボール、バレーボール、ドッジボールなど
屋外スポーツ	春・夏・秋	グラウンド	小学生～	サッカー、野球、ソフトボールなど

## (エ) 農林産業体験

### ■農林産業体験(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
野菜畑訪問(収穫)	春・夏・秋	学園近隣	小学生～	野菜作り農家を訪問し、栽培現場の話を聞く
果物狩り	春・夏・秋	学園近隣	小学生～	地元の果樹園で四季の果物狩りを楽しむ
牧場見学	通年	学園近隣	小学生～	学園近隣の牧場を訪問して話を聞き、牛とふれあう
倒木処理・間伐	春・夏・秋	学園敷地内	小学生～	風倒木の切り出し、枯れ木の伐採を体験
炭焼き	春・夏・秋	学園内	小学生～	竹や松ぼっくりなどの木の実を缶に入れて炭焼き

## (オ) 周辺施設での活動

### ■周辺施設利用(例)

施設名	季節	場所	対象	活用内容
昭和村総合運動公園	春・夏・秋	昭和村	小学生～	スポーツ団体・部活動の練習・試合
昭和村社会体育館	通年	昭和村	小学生～	スポーツ団体・部活動の練習・試合
奥利根ワイナリー	通年	昭和村	小学生～	ブドウ畑とワイン工場の見学
こんにやく工場見学	通年	昭和村	幼児～	昭和村名産のこんにやくの加工工場を見学
ぐんま昆虫の森	通年	新里町	幼児～	里山体験、昆虫観察、生態温室見学
ぐんま天文台	通年	高山村	小学生～	天文台の見学
たくみの里	通年	みなかみ町	小学生～	お面づくり、紙すき、竹細工などの体験や野仏めぐり
尾瀬	春・夏・秋	片品村	小学生～	ハイキング、高山植物観察、自然環境学習
玉原高原	通年	沼田市	小学生～	高原ハイキング、ブナ原生林散策、自然環境学習、スキー

## (カ) 園内各所でできるプログラム

### ■いつでも体験できる活動(例)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
ディスクゴルフ	通年	学園内	小学生～	ディスクゴルフ協会公認コースで本格的な体験ができる
卓球	通年	ホール	小学生～	ラケット・ボールを事務室で貸出し、いつでも利用ができる
草花の観察	春～秋	学園周辺	幼児～	図鑑などを見ながらのんびりと山野草の観察
木の実拾い	秋～冬	学園周辺	幼児～	松ぼっくりやどんぐり、くるみなどを拾い集めて遊ぶ
落ち葉集め	秋～冬	学園周辺	幼児～	クヌギやスダジイなど広葉樹の落ち葉集めて遊ぶ
そり遊び	冬	学園内	幼児～	積雪時に学園内のコースでそり遊び(そりのレンタルあり)
アスレチック遊び	通年	学園内	幼児～	ネットのアスレチック遊具で自由遊び
読書・資料調べ	通年	図書室	幼児～	自然や野外活動、農業などのことが調べられる図書の設置

## ウ 自主事業による支援策

木材を使ったクラフトを用意します。

### ■創作活動(例)

プログラム名	料金	場所	対象	内容
小枝のキーホルダー	130円	工作室ほか	小学生～	小枝を加工し、絵や色塗りをしたキーホルダー
焼き板	300円	ピロティほか	小学生～	焼いた板に絵や文字を書いたプレート飾り
焼き板(鍋敷)	250円	ピロティほか	小学生～	焼いた板に絵や文字を書いた鍋敷
小枝のスプーン	200円	研修室	小学生～	木枝を柄に加工したオリジナル食器
小枝のフォーク	200円	研修室	小学生～	木枝を柄に加工したオリジナル食器
白樺木片飾り	350円	工作室ほか	小学生～	輪切りの白樺に絵を描いた壁飾り
竹トンボ	100円	工作室ほか	小学生～	竹を素材にした伝統的な遊具
木製コースター	100円	工作室ほか	小学生～	輪切りの木片に絵を描いたコースター
木製ペンダント	130円	工作室ほか	小学生～	輪切りの木片に飾り付けしたペンダント
トーテムポール	300円	ピロティほか	小学生～	丸太の皮をむき、顔や模様を彫りこんで色づけした飾り
プラ板細工	150円	工作室ほか	小学生～	プラスチック板にイラストを描いてオーブントースターで熱処理
わらぞうり	150円	研修室ほか	小学生～	地元のお年寄りの手ほどきを受けながら作る(講師代別途)
写生・スケッチ	—	学園内	小学生～	四季折々の風景をスケッチ
雪の造形(灯籠・かまくら)	—	広場ほか	幼児～	スコップやバケツで雪灯籠を作り、ろうそくの灯をとめます

## エ 生活用品の販売や自動販売機の設置

近隣に商店がないことから、学園で必要となる生活用品等を販売するほか、学園内に清涼飲料水の自動販売機を設置します。

## (4) 食事提供

### ア 食事の提供計画

一部食材において、地元の新鮮な食材を使い、季節に合わせてメニューを変更することで、赤城を感じることができる食事にします。活動内容に合わせて屋外でも食事ができるよう、お弁当も用意します。

### イ 食物アレルギーのあるお客様への対応について

アレルギーがあるお客様については、事前にヒアリングし、食材から調味料、使用器具、調理手順に至るまで、アレルギーの除去が徹底されるよう、細心の注意を払います。

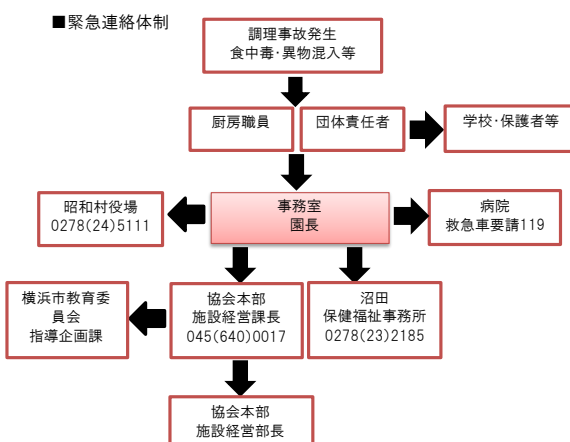
また、アレルギーをもつ児童へ手渡すまで内部で3回確認したのち、引率責任者により、児童へ手渡すこととします。

### ウ 献立、成分の情報公開

給食や特別料理などの全メニューの原材料や成分表をインターネットで公開します。

## エ 調理事故発生時の連絡体制

万が一の事故が発生した場合に備え、予め「緊急連絡体制」を整えておきます。事故発生があった場合は、調理や食事の現場から園長を通じて協会本部、横浜市教育委員会等の各関係機関に迅速に連絡をします。



## 4 施設・設備の維持管理

### (1) 施設・設備の点検

毎日の日常点検を確実にを行うほか、法定点検及び機能維持点検（自主的点検）を信頼ある専門業者へ委託します。



## ■職員による日常点検計画

業務名称	場所	内容	回数
日常点検	各所	仕上げ材等の浮、ひび割れ、剥がれ、照明の不点灯、建具のぐらつき等、不具合の発見	毎日
	ボイラー	作動状況・破損等の確認	作動時
	浴槽ろ過装置	作動状況・破損等の確認	作動時
	浴槽塩素注入機	作動状況・破損等の確認・浴槽水の残留塩素測定	作動時
	野外炊事場	ゴミ等の片付け、炭捨て場消火確認、	実施時
	旧キャンプ場	倒木、落枝の確認	利用前

## ■専門業者による定期点検計画

	項目	内容	回数
法定点検	特定建築物衛生管理	建築物環境衛生管理技術者の選任、空気環境測定業務など	6回/年
法定点検	汚水処理装置	作動点検及び水質検査	15回/年
法定点検	井水・浴場ろ過装置	作動点検及び水質検査	2回/年
法定点検	ボイラー保守点検	ボイラーの定期点検	2回/年
法定点検	地下タンク保守点検	地下灯油タンク及び埋設配管の漏洩点検	1回/年
法定点検	自家用電気工作物点検	電気主任技術者による受電設備、分電盤等の点検	12回/年
法定点検	消防設備保守点検	屋内・外消火栓設備、自動火災報知設備、非常警報設備、非常用放送設備、避難器具、誘導灯、防ばい煙制御設備、ハロゲン化物消火設備 他	2回/年
法定点検	防火対象物定期点検	防火対象物点検資格者による防火管理状況の消防設備・火気設備器具の維持管理状況などの点検	1回/年
法定点検	ばい煙測定	ばいじん、窒素酸化物、硫酸酸化物測定	2回/年
自主点検	暖房機作動点検	作動点検	2回/年
自主点検	襲雷警報装置点検	作動点検	1回/年

## (2) 日常清掃・定期清掃

利用後は職員が必ず最終点検、確認を行いながら清掃を行うほか、ガラス清掃や害虫駆除などを業者に委託して行い、快適で衛生的な環境を保持します。

## ■職員による日常清掃計画

業務名称	場所	清掃内容	回数
日常清掃	各所ゴミ箱	ごみ収集	利用後
	玄関・ロビー・廊下	床除塵	利用後
	ラウンジ・研修室	床除塵	利用後
	食堂	床除塵、整理整頓	利用後
	宿泊室	床除塵、整理整頓	利用後
	事務室	床除塵、整理整頓	毎日
	トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び衛生消耗品の補充	毎日
	浴室・脱衣所・洗い場・洗面所	除塵清掃及び定期的なごみ拾い、水切り後ふき取る	利用後
	森の家	床除塵	利用後
	建物内外外構	ごみ拾い、落ち葉清掃及び定期的な吸い殻清掃	利用後
	グラウンド・広場	ごみ拾い、落ち葉清掃及び定期的な吸い殻清掃	利用後
	照明器具、コンセント	器具の除塵	適宜

### ■職員による定期清掃計画

業務名称	場所	内容	清掃内容	回数
定期清掃	トイレ	換気扇、便器、洗面台 他	除塵、便器、床タイル磨き、衛生用具洗浄	2回/年
	浴室、脱衣場	排水溝、タイル、換気扇、鏡、洗面台 他	除塵、清掃、衛生用具洗浄	2回/年
	各宿泊室	暖房機フィルター	水洗いで埃をおとす	2回/年
	各所	照明器具	除塵、清掃	2回/年
	各所	手すり、天窓	除塵、清掃	2回/年
	宿泊室	押入れ、床、建具、換気扇、網戸	除塵、水拭き清掃	1回/年
	食堂	食堂電気傘	電気傘の除塵	1回/年

### ■専門業者による定期清掃計画

業務名称	場所	内容	清掃内容	周期
定期清掃	山の家・鳥の家	ワックス清掃	ワックスを使用した床清掃	5回/年
	森の家	ワックス清掃	ワックスを使用した床清掃	2回/年
	山の家・鳥の家	ガラス清掃	窓ガラス清掃	4回/年
	森の家	ガラス清掃	窓ガラス清掃	1回/年
	トイレ・浴室	清掃	床、便器、タイル、浴槽清掃	5回/年
	宿泊室	寝具クリーニング	専門業者による布団・毛布のクリーニング	1回/年
	旧キャンプ場	寝袋クリーニング	専門業者による寝袋のクリーニング	1回/年
	宿泊室	害虫駆除	室内清掃、消毒剤噴霧	4回/年
厨房	グリストラップ清掃	グリストラップ排水管の洗浄	1回/年	

### (3) 外構管理

敷地が広大な赤城では職員のほか、シルバー人材センターに委託します。  
大雪が降った場合は、ホイールローダーを使って除雪を行います。

### ■外構・植栽管理計画

業務名称	内容	実施者	回数
外構・植栽管理	人力除草、中低木剪定、刈込	業者	140人工（4～8月）
	薬剤散布	業者	適宜
	排水溝清掃	職員	年3回(4・7・11月)
	除雪	職員	降雪時

### (4) 宿泊時の維持管理

#### ア シーツクリーニング

宿泊時にはスリーピングシートと枕カバーを1人に1枚ずつ支給し、利用終了後に、クリーニングを行います。

#### イ 寝具クリーニング

専門業者による毛布のクリーニングは年2回、布団の乾燥を年1回実施します。

### (5) 地球温暖化対策

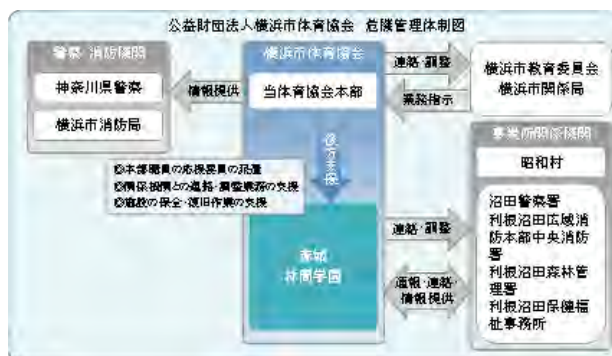
学園では、主体的に省エネルギー行動に取り組むとともに、子どもたちへも環境教育の一環として積極的にアピールをしていきます。

省エネルギー行動の取組(例)
○ 空調機の設定温度の適正化
○ ボイラー給湯機の設定温度の適正化
○ 蛇口の節水コマの導入、節水シール添付による節水の呼びかけ
○ 事務機器の省エネモードの使用
○ 電気機器等の更新・購入時の省エネタイプの購入
○ 裏紙の使用による用紙購入量の縮減

## 5 安全管理

### (1) 緊急・救急時の安全管理体制

事故などの緊急時に備え、協会全体で危機管理体制を確立するとともに、適切な緊急連絡網の整備により、情報共有をしながら迅速に対応します。



### (2) 地震対策

#### ア 学園内での対応

学園内で地震が発生した場合は、非常放送を使い正面玄関へ誘導します。けが人がいる場合は、救急車を要請するなどの対応をします。

#### イ 関係者への連絡

地震が発生した場合は、学園当直職員から所属団体の緊急時連絡先・関係者に速やかに連絡し、学園での状況を説明します。避難状況等についても順次、指導職員やスタッフから学園に報告させ、適宜関係者に連絡をし、安心感を得られるようにします。

### (3) 荒天の対策

気象状況により荒天が予想される場合は、早めの利用・実施の可否判断をします。また、交通機関の運休や、道路の通行止めなどが発生した場合は、学園にしばらく留まり復旧まで滞在するよう勧めます。その間の食事や宿泊については最優先で対応します。

### (4) 負傷者及び急病人の対応

#### ア 迅速な応急・救命手当と病院への搬送

活動中などに負傷者や急病人が発生した場合は、利用団体の引率者がまず応急手当と救命手当を行うことを原則とし、職員へ連絡をしてもらいます。連絡を受けた職員は、状況に応じ、救急車の要請または学園車両で病院へ搬送します。

職員が事故発生現場にいた場合は、引率者と協力して直ちに応急手当と救命手当を行います。

## イ 職員の24時間対応

宿泊利用のお客様において夜間に負傷や急病が発生した場合は、宿直職員が応急対応します。

## ウ 医療機関との連絡体制・搬送体制

医療機関へ搬送する必要がある傷病者が発生した場合に備え、24時間体制で診察が受けられる昭和村及び沼田市を中心とした近隣の医療機関との連絡体制を整えます。

## (5) 非常食等の備蓄

災害が発生した後事態に備え、宿泊定員の400人分の米や乾パン、飲料水などの非常食や、非常用備品を予め備蓄します。

## (6) 閉園後及び休園日の対応

宿泊利用のない日は警備会社に機械警備を委託します。異常の場合、警備会社の警備員が現場に急行するとともに、消防署、警察署に通報します。

また、警備会社から園長又は、その他の職員に緊急連絡し、その後の対応を引き継ぎ、安全管理に空白のない体制をとります。

## (7) 補償体制

建物や建築物などの設備構造上の欠陥あるいは管理上の不備等により、利用者に身体的傷害や財物損壊を与えた場合、給食や食材が原因の事故への備えとして施設賠償責任保険をはじめとする各種の保険に加入します。

また、自主事業への参加者やスタッフのケガをした際の補償をするため、普通傷害保険に加入します。

### ■保険明細

保険種類	保険内容	賠償限度額
施設賠償責任保険 旅館賠償責任保険	施設側の瑕疵により、利用者に対する身体及び物品等に損害が発生した場合の賠償保険	対人：1人につき1億円 1事故につき1億円 期間中1億円 対物：1事故につき1億円 期間中1億円
生産物賠償責任保険	施設で調理する給食や販売する食材など、提供する生産物の瑕疵により、利用者に対する身体及び物品等に損害が発生した場合の賠償保険	対人：1人につき1億円 1事故につき1億円 期間中1億円 対物：1事故につき1億円 期間中1億円
普通傷害保険	スタッフが活動中にけがをした場合に対応する傷害保険	
スポーツ・レクリエーション保険	日帰りで行う野外活動教室の事前説明会で参加者がけがをした場合に対応する傷害保険	死亡・後遺障害：1人につき350万円 入院保険金：1人1日4,500円 通院保険金：1人1日3,000円
国内旅行傷害保険	宿泊の野外活動教室で参加者がけがをした場合に対応する傷害保険	

## 6 地域との協力・連携

---

### (1) 教育施設協力町村受入事業(来浜事業)の実施

昭和村の小学校 6 年生全員を横浜へ招待し、施設見学等を通じて横浜への理解を深めていただきます。

### (2) 地元利用の受入

横浜市の学校や青少年団体の利用がない日には、地元の小学校などから利用を受け入れます。

### (3) 町内イベントへの出展

村が主催する「昭和の秋祭り」に出展し、昭和村民へ学園の事業や協会が行うイベントなどを紹介します。

## 7 モニタリング

---

PDCA マネジメントサイクルに則り、計画から実践、評価、そして改善というプロセスを経て、さらに次の計画に反映させることにより、業務水準の向上につなげます。

### (1) 利用者アンケート

利用のたびに記入していただいたアンケートを、四半期毎に集計・分析します。

### (2) 事業評価会の実施

四半期毎に本部職員と事業評価会を実施し、収支状況や利用状況を分析し、今後の施設運営方法を改善していきます。

## 8 管理運営経費

---

### (1) 利用にかかる料金の収入計画

#### ア 給食費収入

給食費の提供価格は、安定した質の維持とお客様のニーズに対応したメニュー作りが可能である適正な料金設定をします。収入額は、過去 3 年間の実績に基づいた 1 人当たりの食数に目標の実利用者数を乗じた食数を基に算出しています。

#### イ プログラムにかかる材料費収入

平成 24 年度実績による実利用者 1 人当りの単価 68 円に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### ウ シーツ洗濯代収入

寝具に使用するシーツは、基本的に宿泊者全員が利用期間中に 1 枚利用します。このため、収入額は、料金に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### エ 薪代等収入

薪や丸太などの使用量は、団体のプログラムや人数によって決まります。このため、収入額は、過去 3 年間の実績による実利用者 1 人当たりの単価に目標の実

利用者数を乗じて算出しています。

## オ 光熱水費の実費収入

市民の一般利用は、閑散期のフリープランなどを積極的に展開します。

また、市外利用者数は、学校・団体等の市民利用者がいない場合のみ利用できるため、現状程度と予測しています。

## (2) 自主事業の収入計画

### ア 教室事業収入

教室事業については、募集人数に過去の実績を基礎とした参加率を乗じ算出しています。広報・PR活動を積極的に行うことで参加率をあげていきます。

### イ 飲食事業収入

特別料理や飲料等の料金は品目によって異なり販売数量も一定ではありません。このため、収入額は、過去3年間の実績による実利用者1人当りの単価に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

### ウ 物販事業収入

過去3年間の実績による実利用者1人当たりの単価に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

### エ その他事業収入

#### (ア) レンタル収入

野外活動等に必要な用具を貸し出すレンタル事業の収入は、過去3年間の実績による実利用者1人当たりの単価に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

また、新規レンタル品の収入見込みも加えています。

#### (イ) 利用促進イベント

家族・グループ等を対象とした「赤城フリープラン」や中学・高校の部活動などを対象とした「合宿プラン」については、学校等の団体利用が少ない時期や春休み中に実施するなど、積極的な利用促進を図ります。収入金額は、教室事業と同様の考え方から、想定収入額に参加率を乗じた金額を収入金額として見込んでいます。

## (3) 無駄を削ぎ落とした支出計画

### ア 施設運営支出

施設運営支出は管理運営実績と経験を生かし、すべての経費を見直しました。  
(別紙 収支予算書参照)

### イ 管理運営について

管理運営業務については、当体育協会職員による直接運営を基本とします。

ただし、高度の専門性を要する業務や期間限定作業等の業務については実績と能力が高い専門業者に委託します。

## 平成26年度 横浜市少年自然の家 赤城林間学園「自主事業」

## (1)教室事業

No	事業名	開催期間	対 象	内 容	人数	参加費(一人) ※傷害保険料含む	募集期間
1	赤城さわやか滞在記	5月3日(祝土)~5日(祝月) 2泊3日	小学生以上と保護者	野外炊事(バーベキュー)、苺狩り、ハイキング、他	40	中学生以上 12,000円 小学生 9,000円	3月21日(祝金)~4月15日(火)
2	先生のためのプレキャンプ	5月5日(祝月)~6日(祝火) 1泊2日	横浜市内の小・中学校の先生	野外炊事、ウォークラリー、うどん・こんにやく作り体験、他	40	5,500円	3月21日(祝金)~4月15日(火)
3	【新規】親子アドベンチャーⅠ(高山植物を見つけよう)	7月19日(土)~21日(祝月) 2泊3日	小学生以上と保護者	尾瀬学習、尾瀬ハイク、温泉入浴、他	20	中学生以上 13,000円 小学生 9,000円	6月1日(日)~6月25日(水)
4	キャンプ入門と里山散策	8月8日(金)~10日(日) 2泊3日	3歳以上の子どもと保護者	テント宿泊体験、野外炊事、ぐんま昆虫の森、他	30	中学生以上 12,000円 小学生 8,000円 3歳~未就学児 4,500円	6月21日(土)~7月10日(木)
5	【新規】中高年アウトドア入門	8月30日(土)~31日(日) 1泊2日	横浜市内在住・在勤の成人	テント宿泊体験、野外炊事、他	20	5,300円	7月16日(水)~8月10日(日)
6	【新規】親子アドベンチャーⅡ(紅葉編)	9月13日(土)~15日(祝月) 2泊3日	小学生以上と保護者	尾瀬学習、尾瀬ハイク、温泉入浴、他	20	中学生以上 13,000円 小学生 9,000円	8月1日(金)~8月20日(水)
7	秋の実り収穫ツアー	10月11日(土)~13日(祝月)	3歳以上の子どもと保護者	野菜狩り、果物狩り、うどん打ち体験、アップルパイ作り、他	40	中学生以上 12,000円 小学生 9,000円 3歳~未就学児 4,500円	9月1日(月)~9月20日(土)
8	大人のキャンプⅠ	11月1日(土)~3日(祝月) 2泊3日	横浜市内在住・在勤の成人	そば打ち体験、創作活動体験、ゆるウォーク、ファイナリー見学ほか	20	15,000円	9月21日(日)~10月10日(金)
9	【新規】ノルディックウォーク	11月22日(土)~24日(祝月) 2泊3日	横浜市内在住・在勤の成人	ノルディックウォーク体験、ファイナリー見学、他	20	9,800円	10月10日(金)~10月31日(金)
10	冬を楽しむ家族の集い	1月10日(土)~12日(祝月) 2泊3日	3歳以上の子どもと保護者	雪を使った野外活動、餅つき、クラフト、他	30	中学生以上 12,000円 小学生 9,000円 3歳~未就学児 4,500円	11月21日(金)~12月10日(水)
11	【新規】大人のキャンプⅡ(冬の花火と写真撮影)	2月14日(土)~15日(日) 1泊2日	横浜市内在住・在勤の成人	花火見学、フォトコン写真撮影、他	20	5,000円	1月5日(月)~1月25日(日)
12	スキー&スノボin赤城	3月29日(日)~31日(火) 2泊3日	小学4年生~中学3年生	スキー&スノーボードの練習、ゲーム、クラフト、他	30	中学生 31,000円 小学生 30,000円 (リフト券代含む)	1月21日(水)~2月15日(日)
13	こどもデイキャンプ	10月19日(日)、11月16日(日)、12月21日(日)、1月18日(日)、2月15日(日)、3月15日(日)合計6回	昭和村内の小学生	切り絵、アップルパイ作り、焼きまんじゅう作り、だんご汁作り、草木染め、他	各回30	小学生 1,200円	実施日の1週間前まで

## (2) 飲食事業

(税込み)

内 容		料 金	単 位	提供方法
特別料理	赤城御膳	2,000円	1人分	予約販売、夕食時の追加料理
	きのこ鍋	2,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
	焼き魚(岩魚・山女・虹鱒)	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	天ぷら盛り合わせ(季節の山菜)	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	おでん盛り合わせ	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	こんにゃく田楽	310円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	さしみこんにゃく	210円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	もち豚トンカツ	510円	1皿	予約販売、夕食時の追加料理
	ぼたん鍋	3,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
	鴨鍋	3,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
	豆乳鍋	3,000円	4人分	予約販売、夕食時の追加料理
飲料・その他	500mlペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	160円	1本	予約販売
	250ml紙パック飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	夜食セットA (菓子パン+飲み物)	260円	1セット	予約販売
	夜食セットC (菓子パン+飲み物+果物)	360円	1セット	予約販売
	夜食セットD (おにぎり+飲み物+果物)	360円	1セット	予約販売
	氷	310円	1袋	予約販売
	おやつA	150円	1袋	予約販売
	おやつB	210円	1袋	予約販売
野外炊事食材	朝食パンセット	460円	1人分	予約販売、野外炊事用
	カレーセット	570円	1人分	予約販売、野外炊事用
	焼きそばセット	510円	1人分	予約販売、野外炊事用
	トン汁セット	510円	1人分	予約販売、野外炊事用
	だんご汁セット	510円	1人分	予約販売、野外炊事用
	バーベキューセット	720円	1人分	予約販売、野外炊事用
	ディナーカレーセット	720円	1人分	予約販売、野外炊事用
	野菜サラダセット	210円	1人分	予約販売、野外炊事用
	ディナーバーベキューセット	1,540円	1人分	予約販売、野外炊事用



## (3)物販事業

(税込み)

内 容		料 金	単 位	提供方法
生活用品	軍手	40円	1双	事務所販売
	タオル	140円	1枚	事務所販売
	歯ブラシセット	190円	3本組	事務所販売
	シャンプーリンスセット(小)	360円	1個	事務所販売
	マッチ	20円	1箱	事務所販売
	食品ラップ	140円	1個	事務所販売
	アルミホイル	110円	1個	事務所販売
	食品保存袋(大) 15枚入	25円	1枚	事務所販売
	食品保存袋(中) 25枚入	20円	1枚	事務所販売
	虫除けスプレー 200ml	670円	1個	事務所販売
	乾電池 単1 2個パック	220円	1パック	事務所販売
	食器洗い洗剤	240円	1本	事務所販売
	クレンザー	250円	1本	事務所販売
	木炭 3kg	420円	1箱	事務所販売
	着火剤	420円	1本	事務所販売
	洗濯洗剤	130円	1袋	事務所販売
	ごみ袋 45L 10枚入り	140円	1袋	事務所販売
	ビニール袋 (100枚入)	720円	1袋	事務所販売
千年の水(昭和村産)	130円	1本	事務所販売	
自動販売機(屋内設置1台)	130~160円	1本	4~10月(7ヶ月)稼動	

## (4)その他事業

(税込み)

内 容	料 金	単 位	提供方法
ソリ	200円	半日	
かんじき	200円	半日	
バーベキューコンロ	500円	半日	
ディスクゴルフ	310円	1回	日帰り利用者
ディスクゴルフ	210円	1回	宿泊利用者
ディスクゴルフ	100円	1回	学校利用
コピー(白黒)	20円	1枚	
コピー(カラー)	100円	1枚	
熱風オイルヒーター(午前使用)	1,540円	1台	
熱風オイルヒーター(午後使用)	2,060円	1台	
熱風オイルヒーター(夜使用)	1,030円	1台	
ノルディックポール	300円	半日	

## (5) 利用促進イベント事業

(税込み)

日 程	料 金	内 容
年末年始のゆるリズムプラン 平成26年12月27日(土)～ 平成27年1月4日(日)の期間で 1泊2日もしくは2泊3日の利用	1泊2日 中学生以上 3,900円 小学生 3,700円 3歳～未就学児 3,400円 0歳～3歳未満 700円	食事代(朝1回・夕1回)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き ※夕食時には特別食が付きます。 ※別途、昼食の注文も承ります。
	2泊3日 中学生以上 7,500円 小学生 7,100円 3歳～未就学児 6,500円 0歳～3歳未満 1,000円	食事代(朝2回、夕2回)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き ※夕食時には特別食が付きます。 ※別途、昼食の注文も承ります。
センチュリーライド宿泊パック 8月29日(金)～9月1日(月)の期 間 で1泊2日もしくは2泊3日の利用	1泊2日 中学生以上 3,900円 小学生 3,700円	食事代(朝1回、夕1回)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き ※夕食時には特別食が付きます。 ※別途、昼食の注文も承ります。
	2泊3日 中学生以上 7,500円 小学生 7,100円	食事代(朝2回、夕2回)、シーツ代、 光熱水費、お土産付き ※夕食時には特別食が付きます。 ※別途、昼食の注文も承ります。
フリープラン 11月15日(土)～3月15日(日) までの期間中	光熱水費(横浜市内)1人1泊 500円 光熱水費(横浜市外)1人1泊 800円 リーダー室使用料1泊1部屋 1,000円	家族・グループ対象 ※リーダー室:2部屋(定員5名) トイレ、冷蔵庫、テレビ付き

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家赤城林間学園

### 収支予算書

#### 1 指定管理・収入の部(平成 26 年度)

(1)収入 ※指定管理経費を除く。

	内 訳	合計金額 (円、税込み)	
利用にかかる料金収入 (A)		40,996,440	
項 目	給食費	給食収入	30,136,480
	プログラムにかかる経費	クラブ代等収入	1,096,200
	シーツ洗濯代	シーツ利用収入	4,554,360
	薪代	野外炊事用薪代、キャンプファイアー用薪、丸太代等	707,400
	光熱水費	利用者光熱水費実費負担収入	2,765,720
	自主事業還元収入		1,736,280

(2)指定管理経費を含めた収入合計

	内 訳	合計金額 (円、税込)
利用にかかる料金収入 (A)		40,996,440
指定管理経費 (B)		79,194,000
収入合計 (A)+(B)		120,190,440

団体名:公益財団法人横浜市体育協会

施設名:横浜市少年自然の家赤城林間学園

## 収支予算書

### 2 指定管理・支出の部(平成 26 年度)

		積算内訳	合計金額 (円、税込)
① 維持管理運営費用			120,190,440
項 目	人件費	給料(園長1人)	36,513,000
		給料(副園長1人)	
		常勤職員4人	
		退職給付	
		賃金(アルバイト)	
	修繕費	小破修繕	2,340,000
	設備管理費	消防設備点検、自家用電気工作物保安管理、ボイラー保守点検、井水ろ過装置保守点検 他	3,704,000
	保安警備費	機械警備	193,000
	備品購入費	厨房用品、事務用品等	270,000
	消耗品費	事務用品、施設管理用品等	1,493,000
	外構・植栽管理費	外構・園内植栽管理	858,000
	廃棄物処理費	一般廃棄物、生ゴミ収集処理	721,000
	広報費	広報宣伝、記事掲載	216,000
	印刷製本費	リーフレット、ちらし印刷	162,000
	光熱水費	電気、ガス	9,180,000
	燃料費	灯油等	4,860,000
	保険料	施設賠償保険等	240,000
	使用料・賃借料	職員シーツ代、コピー機リース、AEDレンタル、NHK受信料	519,000
	委託料	給食調理等運営業務、定期清掃業務 他	18,182,000
	報償費	夏期運営スタッフ謝金	54,000
	公租公課費	契約用印紙、自動車税 他	120,000
	旅費交通費	職員・スタッフ旅費交通費	432,000
	通信運搬費	電話、郵送、	573,000
	支払手数料	毛布クリーニング等	1,869,000
	会費及び負担金	簡易水道協会会費等	130,000
	給食原材料費	給食原材料費 収入の85%見込み	25,294,000
	プログラム材料費	プログラム材料 収入の60%見込み	610,000
	シーツクリーニング代	シーツクリーニング代 収入の85%見込み	3,553,000
	薪代	薪代	525,000
	食糧費	ボランティアスタッフ食事代	11,000
間接事務費	バックアップ体制をとる体育協会本部の管理費として(総事業費-委託料-人件費)5%を間接事務費として計上	2,683,000	
租税公課費	仮受消費税と仮払消費税の差額分として納税額を計上	3,285,440	

### 収支予算書

#### 3 自主事業・収入の部(平成 26 年度)

	内 訳	合計金額 (円、税込み)	
② 自主事業による収入		8,215,200	
項 目	教室事業	教室参加費	3,753,000
	飲食事業	特別料理、野外炊事用食材等	2,997,560
	物販事業	自販機収入、物品の販売等	503,280
	その他事業	公衆電話、レンタル事業、フリープラン等参加料	961,360

### 収支予算書

#### 4 自主事業・支出の部(平成 26 年度)

		内 訳	合計金額 (円、税込み)
② 自主事業による経費			8,215,200
項 目	教室事業	教室運営にかかる経費	2,951,640
	飲食事業	食材・飲料販売にかかる経費	2,371,680
	物販事業	物品販売にかかる経費	396,360
	その他事業	物品レンタル、公衆電話にかかる経費 利用促進イベントなどでの給食やプログラム材料費など	759,240
	指定管理事業還元支出	自主事業収支差額	1,736,280

# 横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園

## 平成26年度 事業計画書

指定管理者

公益財団法人横浜市体育協会

## 1 基本的な考え方

南伊豆臨海学園の位置づけ、関連行政施策、重点課題等を踏まえ、次のとおり5つの基本方針、さらに15のアクション（実施策）を定め、指定管理事業に取り組みます。

### (1) 運営方針に基づく15のアクション

基本方針1 野外活動・自然観察の拠点として価値の高い施設にします
アクション(実施策) ①「総合的な学習」をサポート ②南伊豆ならではの自然体験活動等を提供 ③市民ボランティアとの協働
基本方針2 安全・安心な施設にします
アクション(実施策) ④安全管理体制の強化 ⑤ユニバーサルサービスの充実 ⑥ライフサイクルコストの縮減
基本方針3 大規模グループからファミリーまで一年を通じて満足いただける施設にします
アクション(実施策) ⑦ネットワークを駆使し効率的なPR活動を実施 ⑧職員の資質向上と資格認証等の取得
基本方針4 地域に根ざした施設にします
アクション(実施策) ⑨地元人材の活用と地元経済への貢献 ⑩横浜市と南伊豆町との友好関係をサポート
基本方針5 SR(社会的責任)活動を実践します
アクション(実施策) ⑪モニタリングの仕組みの整備 ⑫コンプライアンス活動の徹底 ⑬PDCA サイクルによるマネジメントの推進 ⑭環境に配慮した施設管理 ⑮環境行動を促す事業の実施

### (2) 平成26年度の方針と年度達成目標

年度方針	主な取組	年度達成目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規提案事業の実施計画策定</li> <li>●地元との信頼関係の醸成と協働事業の展開</li> <li>●お客様おもてなし力向上強化</li> <li>●災害対策・避難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆新たな提案事業の実現に向けた5年間のロードマップ作成</li> <li>◆学校利用数を増やすための営業活動(校長会などでのPR)</li> <li>◆教室事業の参加者数向上のためのPR強化</li> <li>◆「おもてなし」技術を身に着けるための研修・訓練の強化と実践。</li> <li>◆部活動や個人での利用促進プランの策定</li> <li>◆町との協力による海浜活動中の避難路の整備等</li> </ul>	実利用者 5,486人 (平成24年度実績の1.7%増)



体制の強化		
-------	--	--

## 2 職員配置・運営体制

南伊豆臨海学園の管理運営にあたり、必要最小限の職員体制で、安全かつ効率的な管理運営体制を構築します。

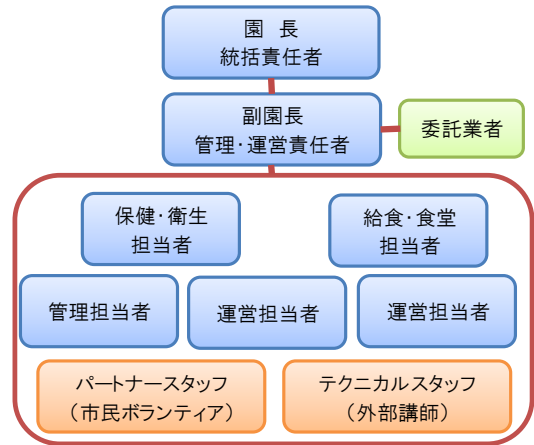
### (1)管理運営体制

#### ア 職員の配置

園長、副園長、保健・衛生担当者、給食・食堂担当者、管理担当者が各1名、運営担当者2名の計7名を配置します。

7名は、地元住民を採用して配置し、緊急時にはいつでも施設へ駆けつけることが可能な体制とします。

■南伊豆臨海学園の管理運営体制



#### イ パートナースタッフ・テクニカルスタッフの配置

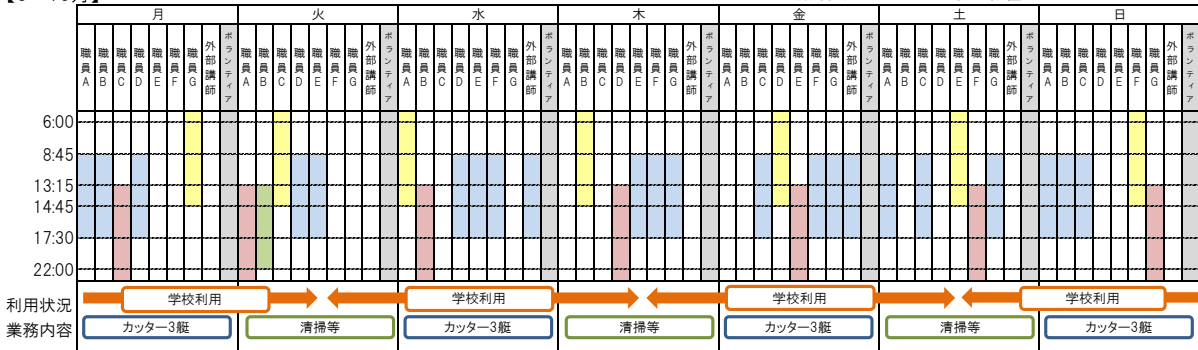
繁忙期の野外活動指導や施設内の清掃などは、「野外活動支援ボランティア」を配置します。

また、カッターやシーカヤックなどの指導で、職員だけでは十分な人員配置ができない場合は、専門的な技術を持つ地域人材に依頼します。

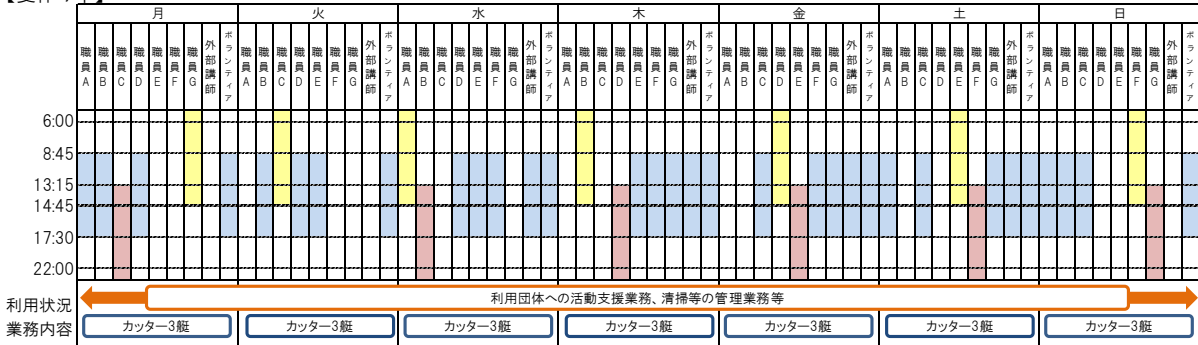
#### ウ 勤務ローテーション

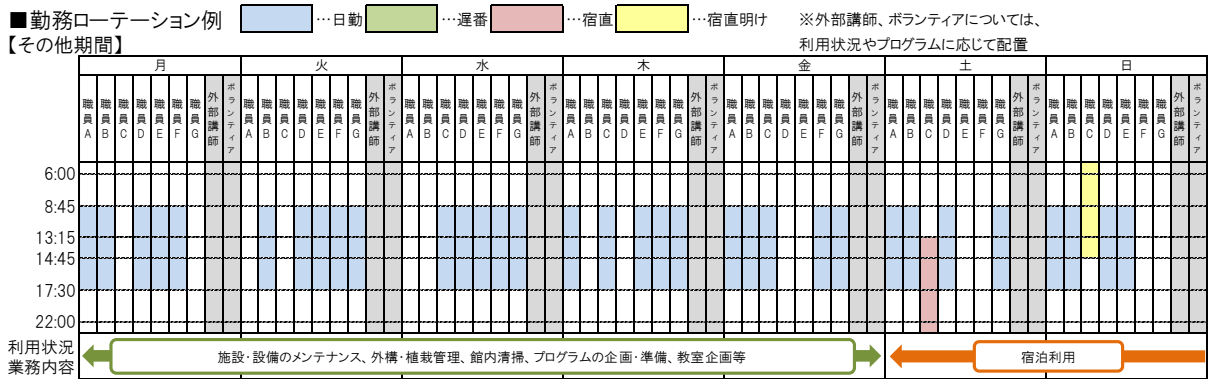
利用団体の活動状況にあわせて通常、遅番、宿直勤務、休日などを組み合わせ、効率的に編成します。

■勤務ローテーション例 [5~10月] ■…日勤 ■…遅番 ■…宿直 ■…宿直明け ※外部講師、ボランティアについては、利用状況やプログラムに応じて配置



【夏休み中】





## エ 業務委託

消防設備点検や温水ボイラーなど専門的な知識や技術を必要とする業務は実績と能力が高い専門業者に委託します。また、給食の調理業務については、「南伊豆臨海学園運営協力会」に委託します。

### ■業務委託予定一覧

業務内容	委託先予定	
汚水処理施設保守点検	株式会社西原ネオ	静岡営業所
自家用電気工作物保守点検	関東電気保安協会	下田支所
機械設備保守点検	アートウォーター	伊東市
消防設備点検	株式会社藤興産	下田支社
機械警備	セコム株式会社	下田営業所
給食調理等運営	南伊豆臨海学園運営協力会	南伊豆町
高窓閉閉装置保守点検	オイレスECO株式会社	横浜営業所
厨房衛生害虫駆除	ネオクリーンサービス	南伊豆町
窓ガラス・網戸清掃	ネオクリーンサービス	南伊豆町
カッター吊り下ろし	(有)荻原工業	南伊豆町

## (2) 職員研修

研修計画に則り、協会本部や園長が中心となって職場内研修や外部研修を実施し、人材の育成を図ります。

### ■平成26年度職員研修計画

内容
マネジメント研修
危機管理・リスクマネジメント研修
経理事務研修
施設管理・設備等技術研修
ビジネスマナー・接遇研修
個人情報保護研修
コンプライアンス研修
人権研修
上級・普通救急救命講習
ネイチャーゲーム体験会
自然観察指導員
キャンプインストラクター、キャンプディレクター2級

### 3 施設の効用の最大限発揮

#### (1) 広報計画

教室や事業ごとに各種広報媒体を活用し、計画的な広報を行います。

##### ■おもな広報手段

活字	ネット	その他
広報よこはま	E-PAGE	学校ポストの利用
ハマふれんど	Facebook	アウトドアショップとの連携
BE-PAL	ハマスポ.com	青少年団体への周知

#### (2) 利用促進

##### ア 学校への訪問活動

横浜市内小学校による体験学習利用の回復のため、かつて南伊豆臨海学園を利用していた学校をはじめ、学園を利用したことのない学校を、直接訪問し体験学習利用をはたらきかけます。

##### イ 市内小学校教員限定の「体験会」を開催

学園を利用したことのない市内小学校の教員に限定した1泊2日の「体験会」を開催します。(ひとりにつき5000円/1泊2日・横浜⇄南伊豆・送迎費用込)

##### ウ 個人利用プランの実施

学校や青少年団体の利用が少ない閑散期の毎週金土日には、1人から宿泊できるようにします。

##### エ 利用日の拡大

12月28日から1月4日まで開館します。

##### オ 自主事業(教室事業)の展開による利用促進

5月のゴールデンウィークや夏休みに自主事業を開催し、利用促進をします。  
別添「自主事業」参照

#### (3) 利用者への支援策

##### ア 利用団体への支援

学園を安全で快適に利用していただくための支援は、①電話等での利用相談  
②来園による下見や事前打ち合わせ ③当日の最終打合せの3段階で行います。

##### イ 南伊豆の環境と資源を活かした豊富なプログラム提供

南伊豆臨海学園を訪れたすべてのお客様が楽しく、そして安全に体験できる多種多様な自然体験プログラムを提供します。

## (ア) 海の活動

プログラム名	季節	場所	対象	内容
カッター訓練	4月～10月	妻良湾	小学生～	湾内で漕ぐ練習をし、岩場や外洋を航行
シーカヤック	4月～11月	妻良湾	小学生～	湾内で漕ぐ練習をし、岩場や洞窟を通過する
シュノーケリング	6月～9月	妻良湾	小学生～	岩場でライフジャケットを着用しながら海中を観察
海水浴	6月～9月	子浦海岸	小学生～	浜から30mの区域で泳ぐ(ライフジャケットを着用)
砂浜レクリエーション	4月～10月	子浦海岸	小学生～	浜でビーチバレー、ビーチフラッグ、綱引きなど
ビーチコーミング	通年	子浦海岸	小学生～	湾内の漂流物を使った創作活動(環境教育)
磯遊び	4月～10月	子浦海岸	小学生～	カッターで岩場の上陸し、磯遊びを楽しみながら生物観察
魚釣り	4月～10月	子浦港	小学生～	湾内の波止場でアジ・いわしの回遊魚釣り

## (イ) 山の活動

プログラム名	季節	場所	対象	内容
ハイキング	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺のハイキングコースを歩きながら自然観察
ポイントラリー	通年	学園周辺	小学生～	コマ図の指示に従い課題を解決する集団ゲーム
ウォークラリー	通年	学園周辺	小学生～	図の指示に従い問題を解いていく集団ゲーム
刑事コロンダ事件簿	通年	学園周辺	小学生～	写真をヒントに課題を解決する集団ゲーム
五社めぐり	通年	学園周辺	小学生～	図の指示に従い課題を解決する集団ゲーム
ナイトウォーク	通年	学園周辺	小学生～	照明の届かない森を歩き、静けさを体感する夜の活動

## (ウ) 自然観察・環境学習

プログラム名	季節	場所	対象	内容
自然観察会	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺を散歩しながら植物を観察
ネイチャーハイキング	通年	学園周辺	幼児～	ハイキングコースを歩き植物観察や野鳥観察する
ネイチャーゲーム	通年	学園周辺	幼児～	学園周辺をゲームしながら植物の観察
チャレンジ日和山	通年	学園周辺	幼児～	日和山の展望広場で一句、くもの巣づくり、サウンドマップ
磯の生物観察	5月～10月	子浦海岸	小学生～	磯を散策しながら海岸の生物などを観察
海の観察(カッター等利用)	5月～10月	妻良湾	小学生～	カッターから地層や海の様子、磯を観察
子浦今昔ぶらりんこ	通年	学園周辺	小学生～	50問の子浦の自然についての問題を解く集団ゲーム
星空観察	通年	学園周辺	小学生～	ナイトハイキングをしながら星空を観察
蛍観察	6月・7月	五十鈴川周辺	小学生～	学園周辺を散歩しながら双眼鏡で野鳥を観察
植物観察	通年	学園周辺	小学生～	学園周辺を散歩しながら植物を観察
海ほたる観察	7月・8月	子浦海岸	小学生～	浜辺を散歩しながら夜光虫を観察
昆虫観察	7月・8月	学園周辺	小学生～	昼に昆虫採集の仕掛けを設置し、夜に集まる昆虫を観察

## (オ) 園内活動

プログラム名	季節	場所	対象	内容
飯ごう炊飯	通年	野外炊事場	小学生～	班活動でカレーやシチュー、ご飯を作る
バーベキュー	通年	園敷地内	小学生～	炭火で地元の新鮮な魚介類を焼く海鮮バーベキュー
餅つき	通年	園敷地内	小学生～	もち米を蒸かして、うす・杵でつく伝統行事
うどん打ち	通年	園敷地内	小学生～	うどん粉をこねて作る手打ちうどん
そば打ち	通年	園敷地内	小学生～	そば粉をこねて作る手打ちそば
小麦饅頭づくり	通年	園敷地内	小学生～	小麦粉をこねて作る手作り饅頭
アジの干物づくり	通年	園敷地内	小学生～	生のアジをさばいて作る干物づくり(250円/2枚)

プログラム名	季節	場所	対象	内容
キャンプファイヤー	通年	学園敷地内	小学生～	丸太の井桁を組み、炎を囲んでゲーム・ソング・ダンスを楽しむ
キャンドルファイヤー	通年	学園敷地内	小学生～	蜀台の炎を囲んでゲーム・ソング・ダンスを楽しむ
たわしゴルフ	通年	学園内	小学生～	館内で12ホール設置のたわしボールのゴルフ
館内ラリー	通年	学園内	小学生～	館内を指示書に従い問題を解きながらゴールする屋内ゲーム
館内暗闇ラリー	通年	学園内	小学生～	館内の廊下や宿泊室などを利用した肝試し
漁業の話	通年	学園内	小学生～	学園職員や地元漁師による講話

## ウ 自主事業による支援策

海浜活動やハイキングなどの活動内容に対応できるよう、お茶やスポーツドリンク、ジュースなどを販売し、要望があれば冷やしたものを浜まで届けるサービスをします。

## エ 生活用品の販売や自動販売機の設置

近隣に商店がないことから、学園で必要となる生活用品等を販売するほか、学園内に清涼飲料水の自動販売機を設置します。

## (4) 食事提供

### ア 食事の提供計画

一部食材において、地元の新鮮な食材を使い、季節に合わせてメニューを変更することで、南伊豆を感じることができる食事になります。活動内容に合わせて屋外でも食事ができるよう、お弁当も用意します。

### イ 食物アレルギーのあるお客様への対応について

アレルギーがあるお客様については、事前にヒアリングし、食材から調味料、使用器具、調理手順に至るまで、アレルギーの除去が徹底されるよう、細心の注意を払います。

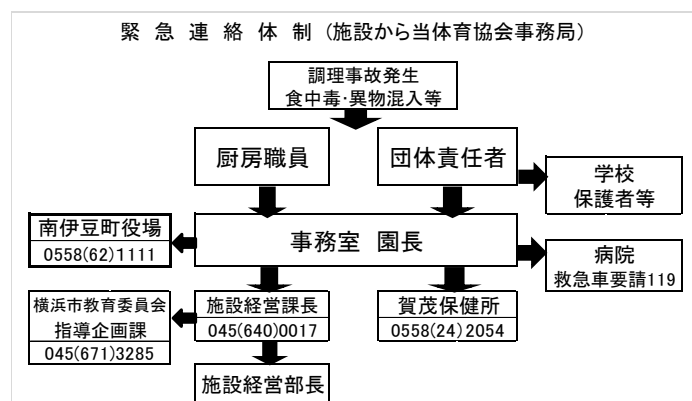
また、アレルギーをもつ児童へ手渡すまで内部で3回確認したのち、引率責任者により、児童へ手渡すこととします。

## ウ 献立、成分の情報公開

給食や特別料理などの全メニューの原材料や成分表をインターネットで公開します。

## エ 調理事故発生時の連絡体制

万が一の事故が発生した場合に備え、予め「緊急連絡体制」を整えておきます。事故発生があった場合は、調理や食事の現場から園長を通じて協会本部、横浜市教育委員会等の各関係機関に迅速に連絡をします。



## 4 施設・設備の維持管理

### (1) 施設・設備の点検

毎日の日常点検を確実にを行うほか、法定点検及び機能維持点検（自主的点検）を信頼ある専門業者へ委託します。

#### ■職員による日常点検計画

業務名称	場所	内容	周期
日常点検	各所	仕上げ材等の浮き、ひび割れ、はがれや、照明の不点灯、建具のぐらつき等、不具合の発見	毎日
	ボイラー	作動状況、破損等の確認	作動時
	浴槽ろ過機	作動状況、破損等の確認	作動時
	塩素注入機	作動状況、破損等の確認	作動時
	水道中継タンク	作動状況、破損等の確認	年4回

#### ■専門業者による定期点検計画

	項目	内容	回数
法定点検	消防設備保守点検	屋内・外消火栓設備、自動火災報知設備、非常警報設備、非常用放送設備、避難器具、誘導灯、他	2回/年
法定点検	危険物貯蔵所点検	地下灯油タンクの点検	1回/年
法定点検	自家用電気工作物点検	電気主任技術者による受電設備、分電盤等の点検	12回/年
法定点検	汚水処理施設保守点検	汚水処理装置の点検	48回/年
法定点検	機械設備保守点検	給水設備、ボイラーの作動点検	1回/年
自主点検	高窓開閉装置保守点検	排煙窓の作動点検	1回/年

### (2) 日常清掃・定期清掃

利用後は職員が必ず最終点検、確認を行いながら清掃を行うほか、ガラス清掃や害虫駆除などを業者に委託した行き、快適で衛生的な環境を保持します。

#### ■職員による日常清掃計画

業務名称	場所	内容	周期
日常清掃	各所ゴミ箱	ごみ収集	利用後
	ロビー・廊下	床除塵	利用後
	ラウンジ・研修室	床除塵	利用後
	食堂	床除塵、整理整頓	利用後
	宿泊室	床除塵、整理整頓	利用後
	事務室	床除塵、整理整頓	毎日
	トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び衛生消耗品の補充	毎日
	子浦港トイレ	除塵、ごみ拾い、衛生陶器清掃及び衛生消耗品の補充	週1回(夏期) 月1回(夏期以外)
	シャワー室	砂落とし	利用後
	浴室・脱衣所・洗い場・洗面所	除塵清掃及びごみ拾い、水切り後ふき取る	利用後
	建物内外外構	ごみ拾い(吸い殻なども含む)、落ち葉清掃	利用後
	キャンプファイア場	ごみ拾い(吸い殻なども含む)、落ち葉清掃	利用後

#### ■職員による定期清掃計画

業務名称	場所	項目	内容	回数
定期清掃	トイレ、風呂他	換気扇・ガラリ清掃	付着した埃等を除去し適正な換気能力を維持する	2回/年
	各所	照明器具清掃	各所にある照明器具の清掃する	2回/年
	廊下・玄関・食堂	床ワックス	保護剤を塗布してワックスを塗装する	2回/年
	ラウンジ・研修室・医務室・事務室	床ワックス	保護剤を塗布してワックスを塗装する	2回/年
	ガラス壁・外壁	高圧洗浄	高圧洗浄機を使用した洗浄する	1回/年
	食堂電気傘・高所埃除去	除塵・清掃	洗剤にて汚れを落とし、水切りをして拭き取る	2回/年

■専門業者による定期清掃計画

業務名称	場所	項目	内容
定期清掃	厨房設備	鼠・害虫駆除	忌避剤を散布
	各所	ガラス・網戸清掃	専門の清掃業者による清掃
	宿泊室	エアコン清掃	専門の清掃業者による清掃

(3) 外構管理

外構管理は職員が中心となって行います。

■外構・植栽管理計画

業務名称	内容	実施者	回数
外構・植栽管理	除草・中低木剪定	職員	4回/年 (4・6・8・11月)
	排水溝清掃	職員	4回/年 (4・6・8・11月)
	落ち葉清掃	職員	適宜
	高木剪定	業者	適宜

(4) 宿泊時の維持管理

ア シーツクリーニング

宿泊時にはスリーピングシートと枕カバーを1人に1枚ずつ支給し、利用終了後に、クリーニングを行います。

イ 寝具クリーニング

専門業者による毛布のクリーニングは年2回、布団の乾燥を年1回実施します。

(5) 地球温暖化対策

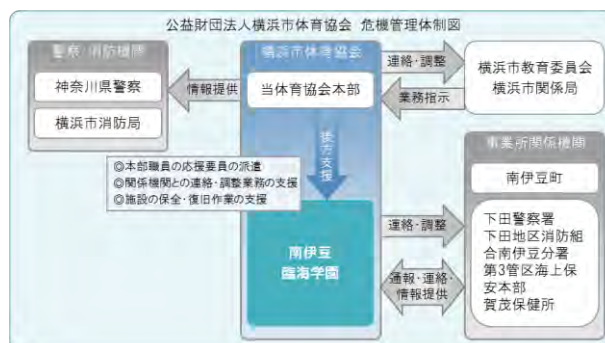
学園では、主体的に省エネルギー行動に取り組むとともに、子どもたちへも環境教育の一環として積極的にアピールをしていきます。

省エネルギー行動の取組(例)
○ 空調機の設定温度の適正化
○ ボイラー給湯機の設定温度の適正化
○ 蛇口の節水コマの導入、節水シール添付による節水の呼びかけ
○ 事務機器の省エネモードの使用
○ 電気機器等の更新・購入時の省エネタイプの購入
○ 裏紙の使用による用紙購入量の縮減

5 安全管理

(1) 緊急・救急時の安全管理体制

事故などの緊急時に備え、協会全体で危機管理体制を確立するとともに、適切な緊急連絡網の整備により、情報共有をしながら迅速に対応します。



## (2) 地震・津波対策

### ア 学園内での対応

海のプログラム実施中は、学園施設内に必ず職員 1 名を当直させ、連絡が取れるようにします。

### イ 「海のプログラム」指導中の職員・スタッフの対応

職員・スタッフは、学園からの地震発生連絡などにより地震発生情報を確認次第、すぐに指定する避難用上陸ポイント(4 か所を設定)に誘導します。

### ウ 関係者への連絡

地震が発生した場合は、学園当直職員から所属団体の緊急時連絡先・関係者に速やかに連絡し、学園での状況を説明します。避難状況等についても順次、指導職員やスタッフから学園に報告させ、適宜関係者に連絡をし、安心感を得られるようにします。

### エ 学園での活動中や生活中に地震が発生した場合の対応

学園で地震が発生した場合は、非常用放送を通じて、ゆれが収まるまで安全な場所で身体をかがめるなど、自身を守るように指示をします。ゆれが収まったら、学園職員の号令により、学園内の避難場所である中庭に集合させます。

## (3) 荒天の対策

気象状況により、荒天が予想される場合は、早めの利用・実施の可否判断をします。また、交通機関の運休や、道路の通行止めなどが発生した場合は、学園にしばらく留まり復旧まで滞在するよう勧めます。その間の食事や宿泊については最優先で対応します。

## (4) 負傷者及び急病人の対応

### ア 迅速な応急・救命手当と病院への搬送

活動中などに負傷者や急病人が発生した場合は、利用団体の引率者がまず応急手当と救命手当を行うことを原則とし、職員へ連絡をしてもらいます。連絡を受けた職員は、状況に応じ、救急車の要請または学園車両で病院へ搬送します。

職員が事故発生現場にいた場合は、引率者と協力して直ちに応急手当と救命手当を行います。

### イ 職員の 24 時間対応

宿泊利用のお客様において夜間に負傷や急病が発生した場合は、宿直職員が応急対応します。

### ウ 医療機関との連絡体制・搬送体制

医療機関へ搬送する必要がある傷病者が発生した場合に備え、24 時間体制で診察が受けられる南伊豆町を中心とした近隣の医療機関との連絡体制を整えます。

## (5) 事故防止のための方策

### ア ライフジャケットの着用

全員にライフジャケットの着用を徹底し水難事故を防止します。



## イ 非常食等の備蓄

災害が発生した後事態に備え、宿泊定員の 200 人分の乾パン、飲料水などの非常食や、非常用備品を予め備蓄します。

### (6) 閉園後及び休園日の対応

宿泊利用のない日は警備会社に機械警備を委託します。異常の場合、警備会社の警備員が現場に急行するとともに、消防署、警察署に通報します。

また、警備会社から園長又は、その他の職員に緊急連絡し、その後の対応を引き継ぎ、安全管理に空白のない体制をとります。

### (7) 補償体制

建物や建築物などの設備構造上の欠陥あるいは管理上の不備等により、利用者に身体的傷害や財物損壊を与えた場合、給食や食材が原因の事故への備えとして施設賠償責任保険をはじめとする各種の保険に加入します。

また、自主事業への参加者やスタッフのケガをした際の補償をするため、普通傷害保険に加入します。

#### ■保険明細

保険種類	保険内容	賠償限度額
施設賠償責任保険 旅館賠償責任保険	施設側の瑕疵により、利用者に対する身体及び物品等に損害が発生した場合の賠償保険	対人:1人につき1億円 1事故につき1億円 期間中1億円 対物:1事故につき1億円 期間中1億円
生産物賠償責任保険	施設で調理する給食や販売する食材など、提供する生産物の瑕疵により、利用者に対する身体及び物品等に損害が発生した場合の賠償保険	対人:1人につき1億円 1事故につき1億円 期間中1億円 対物:1事故につき1億円 期間中1億円
普通傷害保険	スタッフが活動中にけがをした場合に対応する傷害保険	死亡・後遺障害:1人につき350万円 入院保険金:1人1日4,500円 通院保険金:1人1日3,000円
スポーツ・レクリエーション保険	日帰りで行う野外活動教室の事前説明会で参加者がけがをした場合に対応する傷害保険	
国内旅行傷害保険	宿泊の野外活動教室で参加者がけがをした場合に対応する傷害保険	

## 6 地域との協力・連携

### (1) 教育施設協力町村受入事業(来浜事業)の実施

南伊豆町の小学校 5 年生全員を横浜へ招待し、施設見学等を通じて横浜への理解を深めていただきます。

### (2) 地元利用の受入

横浜市の学校や青少年団体の利用がない日には、地元の小学校などから利用を受け入れます。

### (3) 町内イベントへの出展

町民まつり「フェスタ南伊豆」に出店し、南伊豆町民へ学園の事業や協会が行うイベントなどを紹介します。

## 7 モニタリング

---

PDCA マネジメントサイクルに則り、計画から実践、評価、そして改善というプロセスを経て、さらに次の計画に反映させることにより、業務水準の向上につなげます。

### (1) 利用者アンケート

利用のたびに記入していただいたアンケートを、四半期毎に集計・分析します。

### (2) 事業評価会の実施

四半期毎に本部職員と事業評価会を実施し、収支状況や利用状況を分析し、今後の施設運営方法を改善していきます。

## 8 管理運営経費

---

### (1) 利用にかかる料金の収入計画

#### ア 給食費収入

給食費の提供価格は、安定した質の維持とお客様のニーズに対応したメニュー作りが可能である適正な料金設定をします。収入額は、過去 3 年間の実績に基づいた 1 人当たりの食数に目標の実利用者数を乗じた食数を基に算出しています。

#### イ プログラムにかかる材料費収入

平成 24 年度実績による実利用者 1 人当たりの単価 153 円に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### ウ シーツ洗濯代収入

寝具に使用するシーツは、基本的に宿泊者全員が利用期間中に 1 枚利用します。このため、収入額は、料金に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### エ 薪代等収入

薪や丸太などの使用量は、団体のプログラムや人数によって決まります。このため、収入額は、過去 3 年間の実績による実利用者 1 人当たりの単価に目標の実利用者数を乗じて算出しています。

#### オ 光熱水費の実費収入

市民の一般利用は、閑散期のフリープランなどを積極的に展開します。

### (2) 自主事業の収入計画

#### ア 教室事業収入

教室事業については、募集人数に過去の実績を基礎とした参加率を乗じ算出しています。天候による変動を加味し、積算しています。

<別紙 自主事業一覧 参照>

## イ 飲食事業収入

特別料理や飲料等の料金は品目によって異なり、販売数量も一定ではありません。このため、収入額は、過去3年間の実績による実利用者1人当りの単価に目標の実利用者数を乗じて算出します。

## ウ 物販事業収入

プログラム用品の販売や自動販売機の収入は品目によって料金が異なり、販売数量が一定ではありません。このため、過去3年間の実績による実利用者1人当たりの単価に目標の実利用者数を乗じて算出します。

## エ その他事業収入

### (ア) レンタル収入

野外活動等に必要用具の貸出しや公衆電話などのレンタル事業の収入は、過去3年間の実績による実利用者1人当たりの単価に目標の実利用者数を乗じて算出します。

### (イ) 利用促進イベント

家族・グループ等を対象とした宿泊セットプランについては、学校等の団体利用が少ない時期や年末年始に実施するなど、積極的な利用促進を図ります。収入金額は、教室事業と同様の考え方から、想定収入額に参加率を乗じた金額を収入金額として見込んでいます。

## (3) 維持管理経費の節減

### ア 省エネルギーのさらなる取組

さらなる挑戦として、照明器具の省エネ調査（場所・適性・削減率）を行い、電気料削減を検討します。

### イ 委託・調達コストの縮減

業務委託契約等の契約期間は、原則として1年ですが、内容によっては、指定管理期間を限度とした長期契約を締結し、経費とともに事務管理コストの縮減を図ります。

### ウ 職員による小破修繕

日常点検時に発見する建物や設備の小破修繕は、職員が補修作業を行うことにより修繕費の縮減を図ります。

## 平成26年度 横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園「自主事業」

## (1)教室事業

事業名	開催期間	対象	内容	人数	参加費(1人)	募集期間
親子わくわく南伊豆	5月3日(祝土)～5日(祝月) 2泊3日	小・中学生と家族	あじ干物づくり、カッター体験、シーカヤック、ネイチャーゲームとハイキング、バーベキュー	45	中学生以上 12,000円 小学生 10,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	2月18日(火) ～3月31日(月)
【新規】 初心者でも大丈夫！ 初夏のカヤック体験	5月10日(土)～11日(日)1泊2日 予備日5月17日(土)～18日(日)	小・中学生と家族、一般	シーカヤック	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	2月18日(火) ～3月31日(月)
【新規】 初心者OK！1泊2日 バスで行く夏のカヤック体験	7月20日(日)～21日(月) 1泊2日	小・中学生と家族、一般	シーカヤック	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円	5月18日(日) ～6月18日(水)
わんぱく漂流記	8月4日(月)～6日(水) 2泊3日	小学4年～中学3年生	カッター体験、シーカヤック、シュノーケリング、自然観察、クラフト	40	24,000円	5月18日(日) ～6月30日(月)
サマーキャンプ 海の親子	8月8日(金)～10日(日) 2泊3日	小・中学生と家族	シーカヤック、海水浴、シュノーケリング、カッター体験、花火、バーベキュー、クラフト他	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	5月18日(日) ～6月30日(月)
親子キャンプ 夏の思い出	8月15日(金)～17日(日) 2泊3日	小・中学生と家族	シーカヤック、海水浴、シュノーケリング、カッター体験、昆虫採集(カブトムシ)、花火	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	5月18日(日) ～6月30日(月)
やったぜGET！ 釣り三昧	9月13日(土)～15日(祝月) 2泊3日	小学4年生 ～中学生と家族	船釣り、カッター体験、シーカヤック、磯遊び、自然観察、クラフト、磯観察、道具作り	30	中学生以上 18,000円 小学生 16,000円	7月18日(金) ～8月18日(月)
カヤック釣り体験	9月20日(土)～21日(日)1泊2日 予備日9月27日(土)～28日(日)	小・中学生と家族	シーカヤックからの釣り、クラフト、カッター体験、自然観察	30	中学生以上 11,000円 小学生 9,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	7月18日(金) ～8月31日(日)
【新規】 初心者でも大丈夫！ 秋のカヤック体験	10月4日(土)～5日(日)1泊2日 予備日10月18日(土)～19日(日)	小・中学生と家族、一般	シーカヤック体験	30	中学生以上 9,500円 小学生 7,500円 3歳～未就学児 3,000円 0～2歳児 500円	7月18日(金) ～8月31日(日)
【新規】 伊豆半島ジオサイトめぐり	10月11日(土)～13日(祝月) 2泊3日	小・中学生と家族、一般	ジオサイト見学・学習	40	中学生以上 16,000円 小学生 13,000円	8月18日(月) ～9月18日(木)
【新規】 フォトツアーin いざ	11月22日(土)～24日(月) 2泊3日	小・中学生と家族、一般	写真教室	20	中学生以上 20,000円	9月18日(木) ～10月31日(金)
【新規】 バスで行く西伊豆めぐり	12月6日(土)～7日(日) 1泊2日	小・中学生と家族、一般	伊豆半島内の観光地巡り	40	中学生以上 18,000円 小学生 16,000円 3歳～未就学児 14,000円 0～2歳児 500円	10月18日(土) ～11月18日(火)
【新規】 南伊豆の自然観察	1月10日(土)～12日(祝月) 1泊2日	小・中学生と家族、一般	伊豆半島内の観光地巡り	40	中学生以上 15,000円 小学生 13,000円	10月18日(土) ～11月30日(日)
2泊3日！ みなみの桜と菜の花ハイク	2月20日(金)～22日(日) 2泊3日	小・中学生と家族、一般	ハイキング、桜と菜の花見物、自然観察、サンドスキー体験、温泉入浴ほか	35	中学生以上 12,000円 小学生 10,000円 3歳～未就学児 4,000円 0～2歳児 500円	12月18日(木) ～1月25日(日)
【新規】 そうだ 釣りに行こう！	3月21日(祝土)～22日(日) 1泊2日	一般	船釣り	15	中学生以上 18,000円	1月18日(日) ～2月18日(水)

## (2) 飲食事業

(税込み)

	内 容	料 金	単 位	提供方法
特別料理	伊勢エビセット	3,000円	1人分	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	煮魚セット	3,000円	1人分	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	季節のフルーツセット A	2,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	季節のフルーツセット B	3,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	季節のお刺身盛合せ A	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	季節のお刺身盛合せ B	1,000円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	心太	300円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	サザエつぼ焼き (2個)	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	沖干しスルメ焼き (漁期のみ)	600円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	イカの丸太煮 (漁期のみ)	500円	1皿	予約販売、夕食事提供時の追加料理
	サザエ弁当	1,000円	1個	予約販売、昼食のみ
飲料・その他	500ml ペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	160円	1本	予約販売
	500ml ペットボトル飲料 (ミネラルウォーター)	140円	1本	予約販売
	2000ml ペットボトル飲料 (お茶・ジュース類)	360円	1本	予約販売
	2000ml ペットボトル飲料 (ミネラルウォーター)	260円	1本	予約販売
	350ml 缶飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	250ml 缶飲料 (お茶・ジュース類)	130円	1本	予約販売
	200ml 紙パック飲料 (お茶・ジュース類)	110円	1本	予約販売
	お菓子詰め合わせ A	200円	1袋	予約販売
	お菓子詰め合わせ B	250円	1袋	予約販売
	お菓子詰め合わせ C	300円	1袋	予約販売
	菓子パン	110円	1個	予約販売
	カップゼリー	90円	1個	予約販売
	プリン	70円	1個	予約販売
	カップめんA	170円	1個	予約販売
カップめんB	160円	1個	予約販売	

## (3)物販事業

(税込み)

内 容		料 金	単 位	備 考
お 土 産 品	磯のり A	560円	1袋	お土産品、予約販売
	磯のり B	720円	1袋	お土産品、予約販売
	天草	510円	1袋	お土産品、予約販売
	干物セット 各種	2,000円～	1セット	お土産品、予約販売
	海草のしおり	50円	1個	お土産品、事務所販売
	海草のしおり(短冊)	100円	1個	お土産品、事務所販売
	石のペンダント	100円	1個	お土産品、事務所販売
	石のペーパーウエイト	100円	1個	お土産品、事務所販売
	貝のストラップ	100円	1個	お土産品、事務所販売
	アルミ缶のマグカップ	50円	1個	お土産品、事務所販売
	Pバンド細工	50円	1個	お土産品、事務所販売
	竹細工(竹とんぼ)	50円	1個	お土産品、事務所販売
	竹細工(竹笛)	100円	1個	お土産品、事務所販売
	反省鳥	100円	1個	お土産品、事務所販売
	アニマルペンダント	100円	1個	お土産品、事務所販売
	マスコット人形	100円	1個	お土産品、事務所販売
	木ノキオ(大)	250円	1個	お土産品、事務所販売
	サザエキャンドル	150円	1個	お土産品、事務所販売
	漂着物のミニアミューズ	100円	1個	お土産品、事務所販売
	木ボックリ人形	150円	1個	お土産品、事務所販売
アジの開き(2枚)	260円	1人	お土産品、事務所販売	
生 活 用 品 等	軍手	40円	1双	事務所販売
	軍手(子ども用)	130円	1双	事務所販売
	ビニールカッパ	260円	1個	事務所販売
	フェイスタオル	160円	1枚	事務所販売
	歯ブラシセット	380円	1本	事務所販売
	シャンプーリンスセット(小)	300円	1セット	事務所販売
	電池 単1 2個パック	250円	1パック	事務所販売
	電池 単2 2個パック	180円	1パック	事務所販売
	電池 単3 4個パック	250円	1パック	事務所販売
自動販売機(屋内設置1台)	130～160円	1本	4～10月(7ヶ月)稼動	

## (4) レンタル等事業

(税込み)

内容	料金	単位	備考
シーカヤック	1,540円	1日	小・中学校利用
シーカヤック	770円	半日	小・中学校利用
シーカヤック	3,080円	1日	団体利用等
シーカヤック	1,540円	半日	団体利用等
シュノーケリングセット	100円	1日	
コピー(白黒)	20円	1枚	
コピー(カラー)	100円	1枚	

## (5) 利用促進イベント事業

(税込み)

日程	料金	内容
<b>「秋のYOU・湯・遊」</b> 10月 3日(金)～10月 5日(日) 10月17日(金)～10月19日(日) 10月24日(金)～10月26日(日) 11月 7日(金)～11月 9日(日) 11月14日(金)～11月16日(日) 11月21日(金)～11月24日(祝) 11月28日(金)～11月30日(日)	中学生以上 3,700円 小学生 3,500円 3歳～未就学児 3,300円 <料金に含まれるもの> (シーツ、夕食、朝食、特別料理、 光熱水費)	家族・グループ対象を対象とした1泊2食 付宿泊プラン 家族の旅行やバイクツーリングの宿泊先 として利用可能 料金に含まれるもの(夕食、朝食、特別 料理、シーツ、光熱水費) <b>※申し込みは利用日の7日前まで</b>
<b>「冬のYOU・湯・遊」</b> 12月12日(金)～12月14日(日) 12月19日(金)～12月23日(祝) 1月16日(金)～ 1月18日(日) 1月23日(金)～ 1月25日(日) 1月31日(金)～ 2月 1日(日)		
<b>「春のYOU・湯・遊」</b> 2月 6日(金)～ 2月 8日(日) 2月13日(金)～ 2月15日(日) 2月27日(金)～ 3月 1日(日) 3月 6日(金)～ 3月 8日(日) 3月13日(金)～ 3月15日(日) 3月20日(金)～ 3月22日(日)		
<b>「お正月のYOU・湯・遊」</b> 12月26日(金)～1月6日(火)	中学生以上 4,700円 小学生 4,500円 3歳～未就学児 4,300円 <料金に含まれるもの> (シーツ、正月料理、光熱水費)	家族・グループ対象を対象とした正月限 定1泊2食付プラン
<b>「合宿プラン」</b> 12月19日(金)～1月 6日(火) 2月13日(金)～3月31日(火)	中学生以上 2,500円 <料金に含まれるもの> (シーツ・夕食・朝食・昼食)	冬休み・春休みの日程に合わせて、中 学・高校・大学の部活やサークルを対象 とした1泊3食付のプラン、食事増量分は 応相談
<b>「横浜市立小学校教員向けプラン」</b> 5月24日(土)～5月25日(日) 6月28日(土)～6月29日(日) 7月28日(月)～7月29日(火)	ひとり 5,000円 <料金に含まれるもの> (バス送迎、シーツ、夕食、朝食、 光熱水費)	南伊豆臨海学園での体験学習利用を目的 的に、横浜市立小学校教員に限定した 体験プラン

### 収支予算書

#### 1 指定管理・収入の部(平成 26 年度)

(1)収入 ※指定管理経費を除く。

		内 訳	合計金額 (円、税込み)
利用にかかる実費負担収入 (A)			18,138,600
項 目	給食費	学園給食	12,625,040
	プログラムにかかる材料費等	アジの開き、クラフト代等	1,205,280
	シーツ洗濯代	シーツクリーニング代	1,166,400
	薪代	野外炊事用薪・キャンプファイア用薪・丸太代	168,480
	光熱水費	一般利用者実費負担	403,000
	自主事業収益還元分		2,570,400

(2)指定管理経費を含めた収入合計

		内 訳	合計金額 (円、税込み)
利用にかかる実費負担収入 (A)			18,138,600
指定管理経費 (B)			56,603,000
収入合計 (A)+(B)			74,741,600



## 収支予算書

### 2 指定管理・支出の部(平成 26 年度)

		積算内訳	合計金額 (円、税込み)
① 維持管理運営費用			74,741,600
項目	人件費	給料(園長1人・副園長1人・常勤職員5人)	29,400,000
		その他(給付・手当・福利厚生費・退職給付引当金)	
	設備管理費	消防設備点検、機械設備保守点検、汚水処理施設保守点検、自家用電気工作物保安業務 等	2,700,000
	保安警備費	機械警備	389,000
	外構・植栽管理費	除草等園内管理	169,000
	廃棄物処理費	一般廃棄物	173,000
	報償費	カッター指導員	670,000
	旅費交通費	職員旅費交通費	648,000
	消耗品費	事務用品、衛生用品 等	1,134,000
	燃料費	ボイラー用燃料、業務車両用ガソリン	2,430,000
	印刷製本費	使用許可書印刷 等	108,000
	修繕費	シャワー室前排水管改修、境界フェンス改修、小破修繕	864,000
	通信運搬費	電話、郵送、インターネット接続 等	363,000
	支払手数料	毛布クリーニング 等	648,000
	保険料	施設賠償保険、生産物賠償保険、モーターボート保険 等	310,000
	広報費	利用案内広告	216,000
	使用料・賃借料	コピー機、AEDレンタル、NHK受信料 等	972,000
	委託料	給食調理等運営業務、高窓開閉装置保守点検、ガラス・網戸清掃、害虫駆除、カッター吊り降ろし 等	12,495,000
	備品購入費	カッター器具 等	486,000
	公租公課費	印紙	50,000
	光熱水費	電気代・ガス代・水道代	6,156,000
	会費及び負担金	地区運営負担金、カッター上架料、港湾使用料	195,000
	間接事務費	事務局管理経費	1,345,000
	給食材料費	給食原材料 等	8,807,000
	材料費等	アジ、クラフト原材料 等	496,000
	シーツ代	シーツレンタル	895,000
薪代	野外炊飯、キャンプファイヤー用薪	128,000	
食糧費	夏期スタッフ食糧費	11,000	
租税公課費	仮払消費税と借受消費税の差額	2,483,600	

収支予算書

3 自主事業・収入の部(平成 26 年度)

		内 訳	合計金額 (円、税込み)
② 自主事業による収入			10,733,040
項 目	教室事業	教室参加料収入	6,730,560
	飲食事業	特別料理、飲料、おやつ類 等	2,363,040
	物販事業	自動販売機収入、クラフト等物品販売	441,720
	その他	レンタル事業収入 利用促進イベント参加費	1,197,720

収支予算書

4 自主事業・支出の部(平成 26 年度)

		内 訳	合計金額 (円、税込み)
② 自主事業による経費			10,733,040
項 目	教室事業	全15教室のスタッフ謝金・食材費・消耗品費・保険料等	5,417,280
	飲食事業	特別料理、飲料、おやつ類等の原材料費 等	1,881,360
	物販事業	自動販売機(電気代、行政財産目的外使用料、販売飲料) 販売物品の購入	327,240
	その他	レンタル用品の購入 公衆電話使用料 利用促進イベントの給食費、シーツ代 等	536,760
	指定管理事業還元		2,570,400